

2023年6月23日  
京都大学大学院総合生存学館  
長瀬産業株式会社

## 大学×商社が提供・『サーキュラーマテリアル』コンソーシアム 2年目も開催決定

### 2050年の“循環型材料”開発に向けた実践的な共創の場に

京都大学（所在地：京都府京都市、総長：湊 長博）大学院総合生存学館と長瀬産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上島 宏之、以下「長瀬産業」）は、昨年引き続き二年目となる「サーキュラーマテリアル」コンソーシアムを2023年秋に開催いたします。本コンソーシアムは京都大学大学院総合生存学館（教授：齋藤 敬）が主催するもので、講演やワークショップを通じて、参加企業に循環型材料（サーキュラーマテリアル）開発に必要な情報やディスカッションの場、国内外のキーパーソンや参加企業との業種を越えた交流の機会を提供するものです。後援企業である長瀬産業は、化学業界の製造業を中心とする幅広いネットワークを活かして、本コンソーシアムの普及や参加企業のフォローアップ等のサポートを行い、産学連携の取り組みを強化していきます。

サステナブルな社会の実現に不可欠な循環型材料の開発には、資源やエネルギーなどの分野の知見だけではなく、その評価方法を含め、多数の事象が関わり複雑になっていることから、一つの専門性では解決が難しいことが課題とされてきました。本コンソーシアムは、サステナビリティと材料開発に関する最新情報をテーマとする講演や、国内外の業界キーパーソン・他企業との交流の場を提供するもので、包括的に循環型材料開発の知見を深め議論を通じて課題へのアプローチを目指します。

2022年9月から23年7月まで開催している一年目の取り組みでは、京都大学大学院総合生存学館の研究会主催者、海外大手企業や海外大学のキーパーソンによる講演や全9回のワークショップを通じて、参加企業は循環型材料開発に必要な知識を俯瞰的、包括的な視点から学びました。これらをもとに、2050年の世界に適応できる材料をバックキャストで議論、その開発に向けたロードマップの作成を進めています。二年目の取り組みでは、ロードマップを参考に循環型材料開発における課題を解決すべく、講演やワークショップを通じて、材料のモノマテリアル化、長寿命化、易リサイクル機能付与を新たな学びのテーマとし、循環型材料の評価手法の開発にも取り組んでいきます。最終的には、本コンソーシアムでの成果を基に産学官連携プログラムに応募し、イノベーションの創出を目指します。

京都大学大学院総合生存学館と長瀬産業は、サステナブルな社会の実現を目指し、イノベーションの研究開発拠点形成の産学連携の場として今年度もこの取り組みを推進、強化してまいります。





京都大学 大学院 総合生存学館

思修館



NAGASE

Delivering next.

■一年目・本コンソーシアムでの講演項目と参加企業の声

	テーマ	講演者
22年 9月	環境に良い科学とは？グリーンケミストリーを中心に	齋藤敬 京都大学 総合生存学館教授 Dr. John Warner Senior Vice President of Chemistry and Distinguished Research Fellow of Green Chemistry and Sustainability at Zymergen Inc. USA
10月	バックキャスト思考で描く未来社会とネイチャーテクノロジーの原理	石田秀輝 総合生存学館SIC特任教授 東北大学名誉教授 一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長
11月	Chemistry for a Circular Economy and Sustainability	Prof. Dr. Klaus Kümmerer Scientific Director Research, International Sustainable Chemistry Collaborative Centre (ISC3)
12月	ウェルビーイングのためのイノベーションとは？	積山薫 京都大学 総合生存学館教授
23年 2月	グリーン・エコミーとは？	Prof. Dr. Dimiter S. Ialnazov 京都大学 総合生存学館教授
3月	ESGとその一歩先へ	金村宗 京都大学 総合生存学館准教授
4月	GX時代における循環経済（サーキュラーエコミー）について	吉川泰弘 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐(総括)
5月	環境評価システムの現状とこれから	Prof. Dr. Benjamin McLellan 京都大学エネルギー科学研究科 教授
6月	合宿型ワークショップ 金沢	新井敏 金沢大学 ナノ生命科学研究所 准教授
7月	コンソーシアム報告会	華道池坊次期家元 池坊専好

1年目の参加企業実績

- 株式会社esa
- 東洋紡株式会社
- ナトコ株式会社
- 三井化学株式会社
- ヨネックス株式会社
- 阪本薬品工業株式会社
- 住友精化株式会社 等

参加企業の声

- 参加企業間で討議・コミュニケーションを取るコンソーシアムは珍しいのでとても有意義。
- 普段会話する機会がない業界の方たちと、共通の話題で議論でき、かつ懇親会含めて人脈形成もできる貴重な場と認識。
- 持続可能性について多様な見方に気づかされるので、ワークショップ後は毎回社内に持ち帰り内容を共有している。
- 講演やワークショップを通じて、理系・文系の知識、国際的な動向等を学べ、新しい気づき・知見を得ることができる刺激的な場。

◆本件に関するお問い合わせ先

京都大学大学院総合生存学館

<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp>

長瀬産業株式会社

<https://www.nagase.co.jp/>

<コンソーシアムに関するお問い合わせ>

京都大学大学院総合生存学館 教授 齋藤敬 GC&CE 研究会 TEL: 075-753-5122

MAIL: [office@saitolab.gsais.kyoto-u.ac.jp](mailto:office@saitolab.gsais.kyoto-u.ac.jp)

長瀬産業株式会社 サステナビリティ推進本部 サステナビリティ推進室 TEL: 03-3665-3206

MAIL: [nagasesustainability@nagase.co.jp](mailto:nagasesustainability@nagase.co.jp)

<報道に関するお問い合わせ>

グローバルコミュニケーション本部 広報室

TEL: 03-3665-3640